

大阪市は介護保険料を引き下げてください!

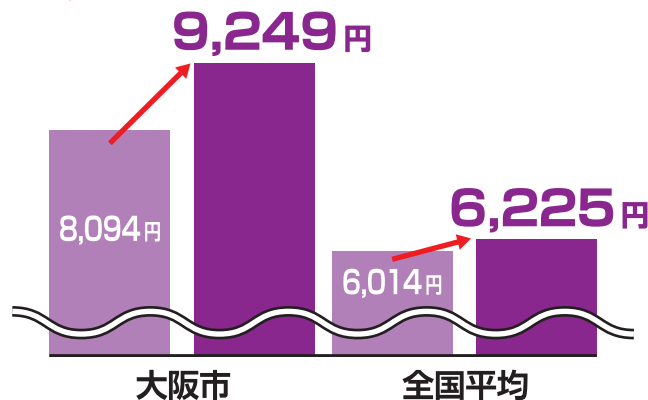
何とかして! 日本一高い介護保険料

大阪市は介護保険料を 14.3%引き上げ、全国一高くなってしまいました。基準月額9,249円・年額11万988円で、全国平均の1.5倍です。

とくに低所得者(非課税世帯・年金80万円以下)で比較すると近隣の政令指定都市と比べても極端に高くなっています。

神戸市(年1万8556円)の2倍以上の3万7,181円になっています(下表)。低所得の人が多い大阪市の高齢者にとって限界を超えています。

14.3%引き上げで全国最高額



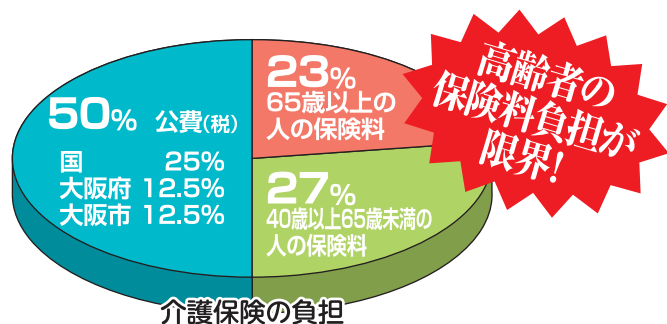
低所得者(年金80万円以下)の介護保険料(年額)

大阪市	3万7181円
神戸市	1万8556円
京都市	2万4487円
堺市	2万5370円



なぜ高い? 一人暮らしが多い こんなときこそ大阪市の出番!!

大阪市では、一人暮らし高齢者が45%と全国平均29.6%の1.5倍、このためホームヘルパーなど在宅介護を利用する人が多く、介護費用が多くかかります。そのため介護保険料が高くなったと大阪市は説明しています。こんなときこそ、大きな財政力を持つ大阪市の出番です。



高齢者に負担かけ過ぎ 公費で軽減を

介護保険では介護費用の50%を保険料で賄うことになっており、高齢者の負担分は23%です。この仕組みでは、一人暮らし高齢者が増えて介護サービスを利用する人が増えると高齢者全員の保険料が天井知らずに上がっていくことになります。

高齢者に保険料負担をかけ過ぎています。

万博予算(1343億円)の16分の1の83億円を回せば保険料引上げストップできる!

高齢者に多大な負担を負わせる介護保険は限界にきています。高すぎる保険料額は国の公費負担を増やさない限り抑えることはできません。それまでの間は、大阪市の一般財源を繰入して介護保険料を引下げるべきです。介護保険料を据え置くために必要な年83億円は、今年度の大阪市の万博関連予算1343億円の16分の1で賄うことができます。

- 1 国庫負担増で介護保険料引下げ、介護を充実をするよう国に求めてください。
- 2 当面、大阪市の一般財源を投入して介護保険料を据え置いてください。
そのため、万博・カジノ関連予算など無駄遣いを見直してください。

介護保険料引き下げ署名→
(大阪社保協サイトより)

